

φ 48 スモール DN タコメーターキット (オレンジ LED) 取扱説明書

製品番号 05-05-0074

適応車種 レブル 250 (MC49-1000001 ~ 1399999)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

～特徴～

レブル 250 専用のタコメーターキットです。純正メーター横に配置する為、非常に視認しやすいです。
付属のサブコードは簡単な配線加工で取り付けの事が出来ます。
メーター本体にはφ 48 スモール DN タコメーター (オレンジ LED) を採用しています。指針角度をデジタル信号 & 小型モーターが完全制御。
指針保持力が高く、信頼性に優れた構造です。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取り付けの際には、工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書は基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ◎当製品使用中に発生した事故、怪我、物品の破損等に関して如何なる場合においても弊社は賠償の責任を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
- ◎他社製品との組合せは保証対象外になりますのでご遠慮願います。
- ◎当製品のサブコードを取り付ける場合、一部簡単な配線加工等が必要になります。
- ◎一度の走行距離が短い場合等、車両のバッテリーに十分な充電が行われない場合こまめにバッテリーの充電を行って下さい。
又、保管期間がある場合は、バッテリーマイナス端子を取り外しこまめに充電を行うか、弊社製バッテリーチャージャーで充電を行って下さい。
(待機電流でバッテリー上がりの原因になります。)

●ご使用にあたっての注意点

社外品の H. I. D. キット、他社製 LED ヘッドライトやフォグランプ類は、絶対に同時装着しないで下さい。
バラスト / インバーター (電圧変換装置) からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る物があり、製品故障や動作不良の原因となります。
当製品は、DC12V 専用です。AC12V では使用しないで下さい。
社外品の点火装置 (イグニッションコイルやプラグコード) も点火電圧のアップに伴う悪影響ノイズの増大により故障の原因となりますので取り付けしないで下さい。
充電力の不足している社外品の発電装置は、バッテリー電圧の低下、制御電圧の不具合により故障の原因となる可能性がありますので取り付けしないで下さい。

[ヘッドライト OFF での走行禁止]

ヘッドライト常時点灯車を安易な改造 (断線させるだけ) によりライト OFF 状態にして走行すると消費されない電力が車体全体の電圧を上げてしまいます。そのまま走行を続けると、過充電によるバッテリーの劣化や過度の負担により純正レギュレーターが故障してしまう可能性があります。
ノーマルよりも高いエンジン回転数で走行するエンジン改造車では、悪影響がより強くなります。
ヘッドライトが球切れしてしまった場合は、直ちに走行を止めるか、どうしても走行する必要がある場合はハイビームに切り替えて (光軸も調整して) 下さい。この時、なるべく低回転で走行して下さい。

進入した湿気が出て行くように湿気抜きを本体裏面に設けております。洗車時など、メーター底面に直接水を吹付けないように注意して下さい。
また、湿度の高い状態に置きますと本体内部に湿気が浸入し画面がくもってしまう可能性があります。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業を行う際は、必ず冷間時 (エンジン及びマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)

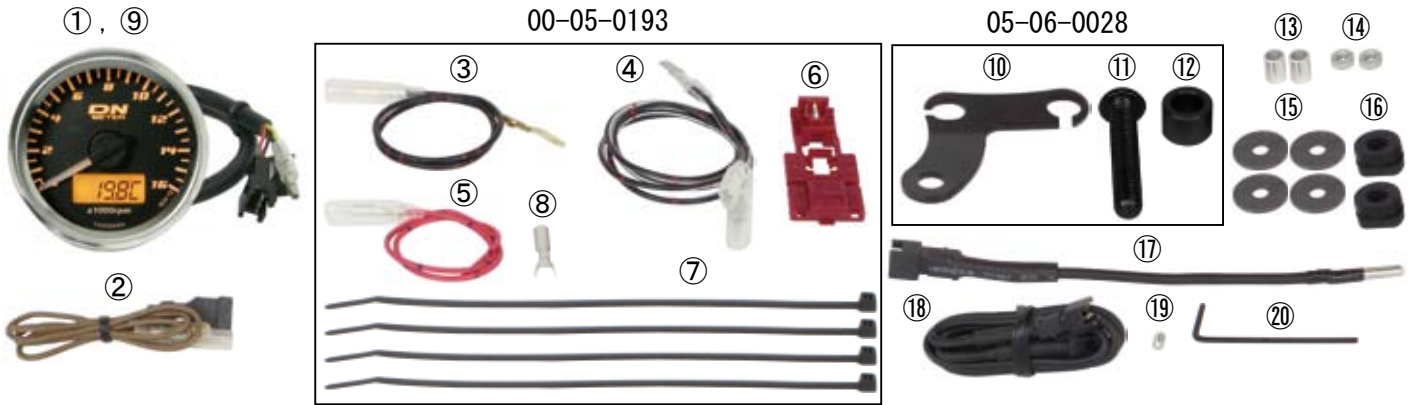
警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 技術、知識のない方は、作業を行わない下さい。(技術、知識不足等による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備を行った際、損傷部品が見つかった場合、その部品を再使用せず損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉したような場所では、エンジンを始動しないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落等で、事故につながる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 点検や整備を行う際は、当取扱説明書やサービスマニュアル等に記載されている、要領、手順に従ってください。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 指定した部品以外の部品使用は、一切行わないで下さい。(部品破損により事故につながる恐れがあります。)

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>



番号	部品名	個数	リペア品番
1	メーター本体	1	
2	RPMコードB (550mm)	1	00-05-0371
3	アースコード	1	00-05-0043
4	電源オプションコード	1	00-05-0189
5	インジケータコード (レッド)	1	00-00-1990
6	エレクトロタップ	1	00-05-0015 (レッド/5ヶ入り)
7	結束バンド	4	00-00-0269 (ブラック/10本)
8	リセクタクル (ギボシΦ 3.5メス)	1	00-00-0270 (5ヶ入り)
9	メーターメイン配線	1	
10	メーターステー	1	

番号	部品名	個数	リペア品番
11	ボタンヘッドソケットスクリュー 8x45	1	
12	カラー (ブラック)	1	
13	クッションカラー	2	
14	六角ナット 4mm	2	
15	ブレンワッシャー 4mm	4	00-05-0086 (10ヶ入り)
16	クッションラバー	2	
17	スティック温度センサー	1	07-04-0553
18	温度センサー連結コード 900mm	1	07-04-0554
19	六角穴付き止めネジ (イモネジ) M3x5	1	00-00-0480 (6ヶ入り)
20	Lレンチ 1.5mm	1	00-00-0902

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

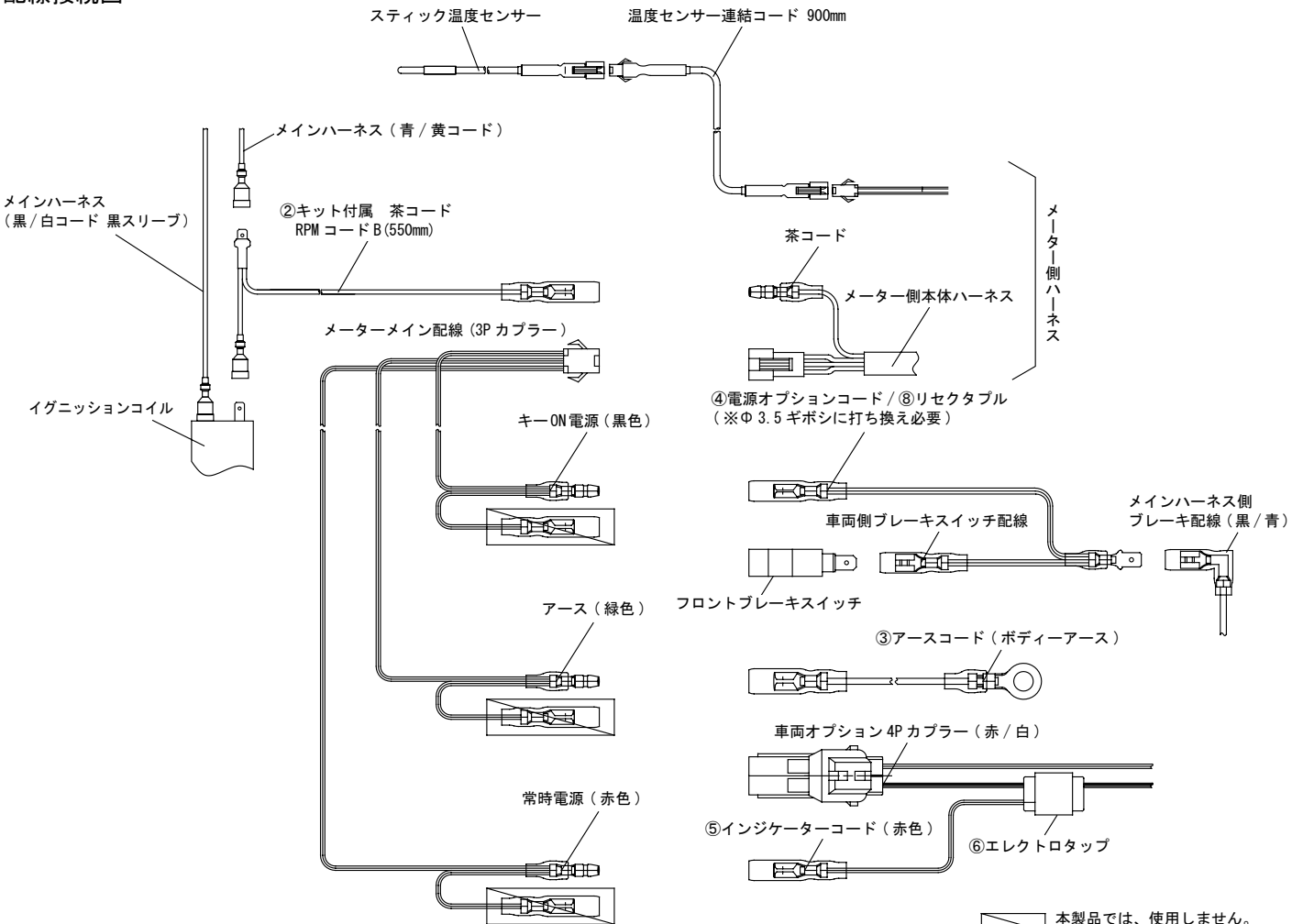
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

※写真にないRPMコード、メーターマウントステーは使用しません。

※口で囲っていない製品は、05-05-0078内の物を使用。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

配線接続図



※② IG コイルコード (茶色) を IG コイル本体に接触しない様に取り回して下さい。タコメーターの指針の誤作動に繋がります。

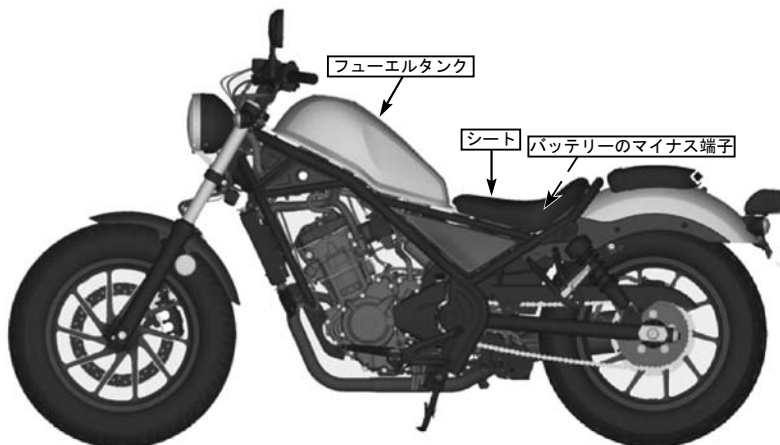
▲ 注意

本取扱説明書中のコード色表記は、ベース色 / ライン色としています。黒 / 白という表記のコードは、黒色の被覆に白色のラインが入っているコードを表します。

▲ 注意

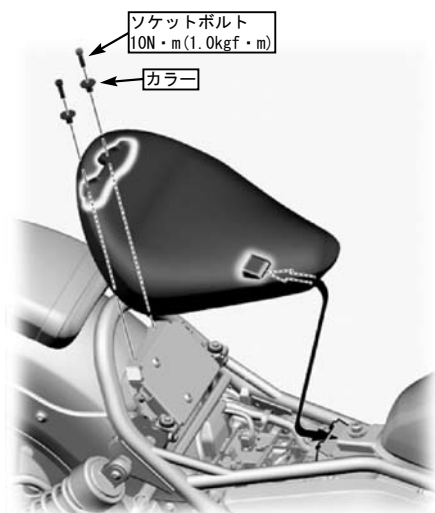
本取説での外装部品取り外し作業内容は、詳細を省略した概要のみを記しております。

外装取り外し作業に不慣れな方は、販売店等に作業を依頼するか、必ずメーカー純正サービスマニュアルの作業手順・締め付けトルクの指示に従い作業を行って下さい。また外装類の脱着時、爪部分や溝部分を破損しないように、注意深く作業を行って下さい。



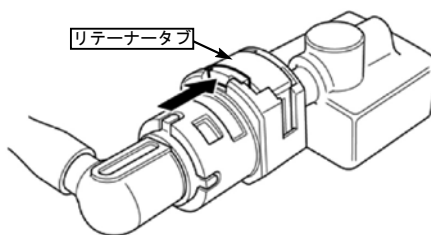
□シートを取り外します。

- ソケットボルト及びカラーを取り外します。シングルシートを後方に引いて取り外します。

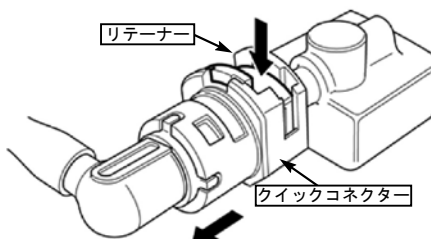


□フューエルタンクを取り外します。

- タンクを固定しているボルトを取り外します。クイックコネクターの接続を外す前にサービスマニュアルを参照し燃圧を抜きます。
- バッテリーのマイナス端子の接続を外します。フューエルタンクを持ち上げて支えます。クイックコネクターの周りをウエスなどで覆います。リテーナータブをジョイント方向に押し込みます。



- リテーナーを押し下げた状態にします。クイックコネクターを、フューエルポンプジョイント/フューエルインジェクタジョイントから外します。リテーナーの状態を点検し、必要に応じて交換します。フューエルタンクを持ち上げ、フューエルホースをフューエルポンプセッティングプレートのホースクランプから取り外します。



- フューエルタンク下のフューエルポンプ 5P カブラーを取り外します。



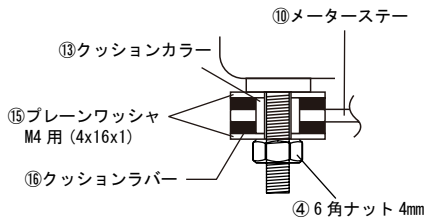
- 下記の部品を取り外します。フューエルタンクドレンホース、チャコールキャニスタホース、フューエルタンク。
- ※この時フレームに養生テープ等貼り付けフレームが傷付かない様フューエルタンクを持ち、後方に少し引きながら取り外します。



□メーターマウントステーにメーター本体を固定します。

- ①メーター本体に⑩メーターステーを取り付けます。
- ラバーマウント部の組み立てに関しては下図を参考して下さい。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：5N・m (0.5kgf・m)



□ハンドルアッパーホルダーRにメーターマウントステーを固定します。

- 純正メーターを固定しているパンスクリュー6x25を取り外します。
- メーター本体を少し左側にずらします。



- ハンドルアッパーホルダーRを固定している後方側をある程度緩め前方側のソケットボルト8x32を取り外します。
- ハンドルアッパーホルダーRの前側（ソケットボルト8x32が入っていた所）に⑫カラーをセットします。



- ⑪ボタンヘッドスクリュー8x45に先ほど準備した、メーターマウントステーに通しカラーの上にセットします。⑪ボタンヘッドスクリュー8x45を締め込みステーの位置を調整します。位置が定まればハンドルバーのポンチマークがトップブリッジとアッパーホルダーのすき間に合う様に取り付ける事。ソケットボルトは、前後の順に規定トルクで締め付ける。
- ※純正メーターを仮止めし、位置調整を行って下さい。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

⑪ボタンヘッドスクリュー8x45
トルク：27N・m (2.7kgf・m)

- 純正メーターを元の位置に戻しパンスクリュー6x25を固定します。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

パンスクリュー6x25
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

□②IGコイルコードを接続します。

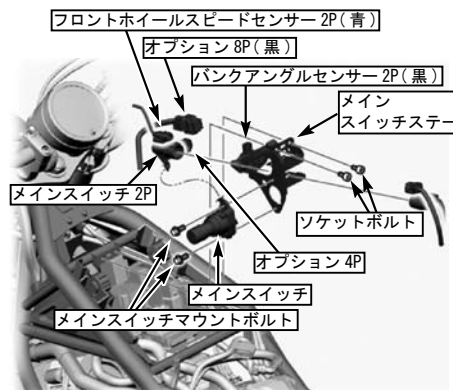
- ※シート/マイナス端子/フューエルタンクを取り外した状態での作業になります。MC49-1200001～のモデルはフューエルタンクまで取り外し、配線図を参考に②RPMコードB青/黄コード間に接続します。

②RPMコードBとメーターハーネスに接続します。

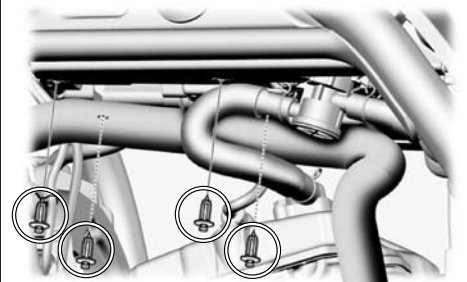
- サービスマニュアルを参照しフューエルタンクアンダートレイを取り外します。
- メインスイッチステーを取り外し、下記のケーブルの接続を外します。
フロントホイールスピードセンサー2P(青)
オプション8P(黒)
バンクアングルセンサー2P(黒)
メインスイッチ2P
オプション4P
- ソケットボルト、メインスイッチステー、メインスイッチマウントボルト及びメインスイッチを取り外します。

組み戻し時の締め付けトルク

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットボルト/メインスイッチステー
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



- エンジンコントロールユニットとプラグキャップを取り外します。
- アンダーカバーを固定している4本のトリムクリップを取り外します。



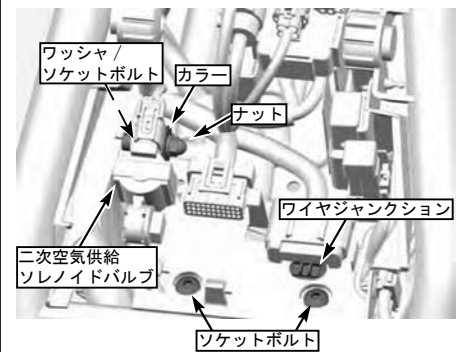
- 下記の部品を外し、二次空気供給ソレノイドバルブをステーから外します。

ナット
カラー
ワッシャ/ソケットボルト

- ソケットボルトとワイヤジャンクションを取り外します。

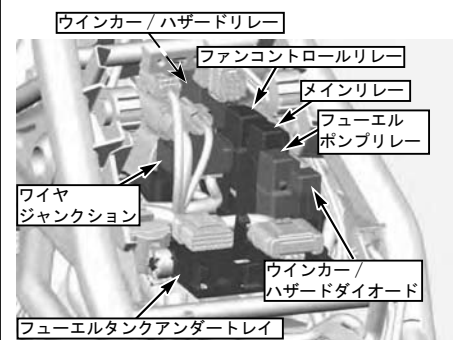
組み戻し時の締め付けトルク

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
二次空気供給ソレノイドバルブマウントナット
トルク：8.5N・m (0.85kgf・m)
ソケットボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



- 下記の部品を取り外します。
ウインカー/ハザードリレー
ファンコントロールリレー
メインリレー
フューエルポンプリレー
ウインカー/ハザードダイオード
ワイヤジャンクション
(ECUを取り外した下にあります。)

フューエルタンクアンダートレイ



○配線図を参考に②RPMコードBをイグニッションコイルの青/黄コード間に接続します。接続が出来れば、メインスイッチステータ逆手順で組み付けます。



フロント側

□常時電源の取り付け作業

⑤インジケータコード(レッド)

※シート/マイナス端子/フューエルタンクを取り外した状態での作業になります。

○フューエルタンク下に4Pオプションカブラーがあります。

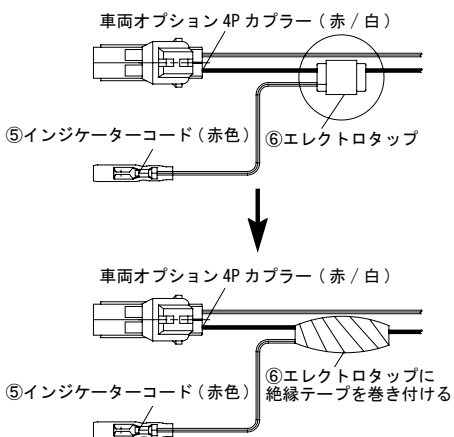
そのオプション4Pカブラー下側にある被膜をハサミ等で縦に切り込みを入れ、赤/白の配線に⑥エレクトロタップを使用し⑤インジケータコード(レッド)に接続します。

※MC49-1200001~の場合、透明のブーツ内にオプション4Pカブラーがあります。

※配線に注意し、作業して下さい。



○接続が確認出来ましたら絶縁テープを使用し、被膜に巻きつけ防水対策します。



□キーON電源の④電源オプションコード組み付け

○配線図を参考に④電源オプションコードのギボシを付属の⑧リセクタブルに打ち換えておきます。

○配線図を参考にし、フロントブレーキスイッチに入っている黒/青のコードを外し、④電源オプションコードを割り込ませ、⑨メーターメインハーネス黒色に接続します。



ブレーキスイッチ

□③アースコードの取り付け

※シート/マイナス端子/フューエルタンクを取り外した状態での作業になります。

○フューエルタンク下の写真の箇所のソケットキャップボルトを取り外し、③アースコードの丸端子部をソケットキャップボルトで固定します。

※塗装でアースがしっかり取れない場合は、やすり等を使用し少し塗装を剥がします。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップボルト
トルク：8.5N・m (0.85kgf・m)



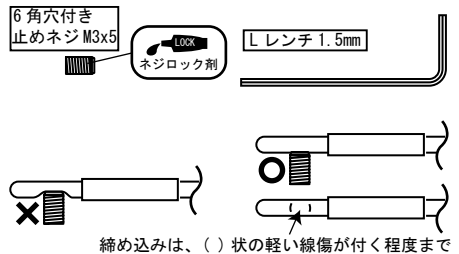
○配線図を参考にし、③アースコード黒と⑨メーターメインハーネスの緑色を接続します。

□⑨メーターハーネスのカブラーを接続します。

○配線図を参考に、ステアリングを切っても問題ないように⑨メーターハーネスの3Pカブラーをフューエルタンク下で接続します。

○別途、弊社製ドレンボルトをお買い求め頂くとドレンボルト部での温度計測が可能になります。(計測範囲0~120℃)温度センサーを走行風の当たらない箇所に固定して頂くと外気温計としてもご使用頂けます。

※センサー未接続(配線が断線)時は数値が[---.°C]となります。



○フューエルタンクを逆の手順で取り付け、マイナス端子を取り付けます。

○作動が問題ない場合は、シートを付けます。

操作方法/各設定を行います。

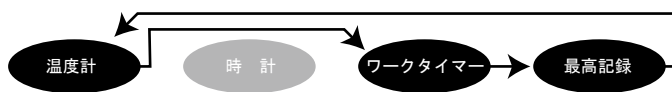
機能一覧

タコメーター	DN モーター駆動。500 ~ 16000rpm。 3種類のRPM信号入力【A接続】【B接続】【C接続】対応。 3項目のRPM信号設定機能付き（接続設定、回数設定、種類設定）。 最低回転数設定機能付き。
温度計	0 ~ 120°C (0.1単位)。
時計	Lボタン長押しで時計合わせ。Rボタン長押しで端数処理。メニューOFF設定対応。
ワークタイマー	0 ~ 99時間59分(1分単位)。100 ~ 9999時間(1時間単位) Lボタン長押しで消去。メニューOFF設定対応。
最高記録	タコメーターと温度計の最高記録。Lボタン長押しで消去。

メニューOFF設定

取り付ける車種によっては使えない機能や、お客様によっては不要と思う機能を隠す事が出来ます。対応の機能は「時計」「ワークタイマー」の2つです。メニューOFF設定はADJモードで行います。

- 例1) バッテリーレス車は時計機能が使えないので、時計をメニューOFFに設定。
例2) スピードメーター側に時計があるので、タコメーターの時計をメニューOFFに設定。



操作方法 (通常画面)

[指針] タコメーター
[LCD] 1 温度計 2 時計 3 ワークタイマー 5 最高記録

文字盤正面から見て
L 短押し 主にページ送り
R 短押し 主に値変更
Ls 長押し (3秒)
Rs 長押し (3秒)

- 1 温度計**
範囲: 0 ~ 120°C (単位: 0.1°C)
Ls ADJモードへ入る (次ページで説明)
L 次モードへ
- 2 時計**
24時間表示。端数処理機能付き。メニューOFF設定対応。
Ls 時計合わせ
Rs 端数処理 [1分の位を5分単位に端数処理]
L 次モードへ
例) 13:12 → 13:00
13:17 → 13:20
- 3 ワークタイマー (エンジン稼働時間計)**
範囲: ~ 99時間59分 (単位: 1分)。
100 ~ 9999時間 (単位: 1時間)。
500rpm以上でタイマースタート。
メニューOFF設定対応。
タイマー稼働中は「:」が点滅します。
100時間を超えると1時間単位の表示に変わります。
Ls 時間消去
L 次モードへ
例) 99時間59分
0:100: 例) 100時間0 ~ 59分
- 4 最高記録**
範囲: ~ 16000rpm、~ 120°C
Ls 記録消去
L 次モードへ
温度計に戻る

操作方法 (ADJモード)

温度計モードの時にLボタンを長押しすると、ADJモードに入ります。

ADJモードへ入る
Ls
R 値変更
L 次項目へ

1 RPM信号接続設定
RPMコード接続先の種類
IGモード【A接続】【B接続】イグニッションコイル接続
PGモード【C接続】ハルスジェネレーター接続
※IGモードに設定して下さい。

2 RPM信号回数設定
クランクシャフト1回転あたりの信号回数
IGモード時の範囲: 0.5、1 ~ 6回
PGモード時の範囲: 1 ~ 24回
※0.5に設定して下さい。

3 RPM信号種類設定
読み込みプログラムの種類
範囲: HIモード、Loモード
※Hiモードに設定して下さい。

4 最低回転数設定
指針を動かさずエンジン回転数の最小値
範囲: 500rpm ~ 4000rpm
バッテリーレス専用機能
バッテリーレス車はエンジンが停止すると、駆動電源が遮断される為、指針はその角度で止まったままになります。
アイドリング回転数より少し高い回転数 (+500rpm程度)を指定する事で、エンジン停止時の指針を0点に留める事が可能です。
もし、指針の角度がずれてしまった場合でも、再起動時に自動修正されます。
バッテリー付き車は「500rpm」に設定して下さい。

5 時計のメニューOFF設定
時計機能を使用しない場合はOFF
範囲: ON、OFF

6 ワークタイマーのメニューOFF設定
ワークタイマーを使用しない場合はOFF
範囲: ON、OFF
温度計に戻る

注意
1 ~ 3のRPM信号設定は、RPMコードの接続方法により適合する設定値が異なります。作動確認前に本体のRPM信号設定の切り替え操作を行って下さい。